資料 2-1

平成 24 年度（H24 シカ年度*）
知床半島エゾシカ保護管理計画
実行計画（案）

平成 24 年 6 月

＊「シカ年度」の定義については P1 の②参照

目　次

１．知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画について p.1

２．Ｈ24 シカ年度実行計画（管理事業）一覧 p.3

３．Ｈ24 シカ年度実行計画（モニタリング調査）一覧 p.4

４．計画の実行に関する検討スケジュール p.5

５．中長期目標

＜付録＞　補足資料

１）知床半島エゾシカ保護管理計画・地区区分図 p.6

２）H24 シカ年度 管理事業位置図 p.7

３）H24 シカ年度モニタリング調査位置図 p.8

４）植生等モニタリングサイト位置図 p.9

５）植生モニタリングサイト一覧表 p.11

１．知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画について

① 目的

今年度より、第２期「知床半島エゾシカ保護管理計画」の計画期間（平成24年４月～29年３月）が始まる。同計画期間についても、第１期計画に引き続き、各シカ年度毎に「知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画」を作成し、エゾシカ保護管理施策を実施するものとする。本実行計画は、平成 24 年 6 月～25年５月を計画期間とする。

また、「知床半島エゾシカ保護管理計画」は北海道が定める特定鳥獣保護管理計画「エゾシカ保護管理計画」の地域計画に位置づけられていることから、本実行計画に基づく各種事業の実施にあたっては、「エゾシカ保護管理計画」と十分な連携を図りながら進めるものとする。

② H24 シカ年度実行計画期間

エゾシカ保護管理上の年度区切りとしては、６月開始、翌年５月終了とする。

年度の表記としては、「H24 シカ年度」とする。

③ H24 シカ年度実行計画概要

＜管理事業＞（3 ページ参照）

「知床半島エゾシカ保護管理計画」の中で定めた３つの管理手法（防御的手法、越冬環境改変、個体数調整）を各地区の管理方針に基づいて優先順位の高いものから順に実施することとする。

ⅰ）「防御的手法」

知床岬などに設置されている各種植生保護柵による防御を継続するとともに、幌別－岩尾別地区では植生保護柵や単木保護ネットの補修を実施してシカ樹皮食い防止対策を引き続き進める。ウトロ地区では、市街地を取り囲む侵入防止柵の維持管理や被害対策について、継続実施する。

ⅱ）「越冬環境改変」

100 平方メートル運動の森・トラストによる、開拓跡地の森林復元作業を引き続き進める。公共事業等における法面植栽等については、エゾシカの嗜好性の低い在来種の利用を推進する。

ⅲ）「個体数調整」

H23 シカ年度については、特定管理地区（知床岬地区）で個体数調整が実施され、新たに設置された捕獲支援用仕切柵を活用して効率的にエゾシカを捕獲した。エゾシカ B 地区（ルサ-相泊地区・幌別-岩尾別地区）においては捕獲手法検討を行った。隣接地区においても林野庁による囲いわな捕獲、斜里町及び羅臼町による有害捕獲等が実施され、5 年目となる狩猟捕獲の効率性の検討（輪採制システム（H19～21 年度）、中断期間設定（H22～））が行われた。

H24 シカ年度については、引き続き知床岬地区において個体数調整を実施し、ルサ－相泊地区

及び幌別－岩尾別地区においては密度操作実験を開始する。幌別－岩尾別地区では海岸付近の越冬個体群を効率的に捕獲するための大型囲い柵を設置し、運用試験を行う。隣接地区においては囲いわなや有害捕獲、狩猟による密度操作を継続実施する他、狩猟による密度操作を推進する。

なお、実施にあたっては、希少鳥類への影響に配慮する。

＜モニタリング調査＞（４ページ参照）

「知床半島エゾシカ保護管理計画」の中で定めた３区分（植生、エゾシカ個体数・個体数指数、土壌浸食）ごとに必要なデータを収集することを目的とする。

ｉ）「植生」

平成 23 年度の各種調査では、知床岬地区において若干の回復傾向が示唆されたが、特に急激な植生変化は確認されていない。

H24 シカ年度も、既存の植生保護柵内外の継続調査のほか、密度操作実験対象地におけるシカ採食圧調査、広域的なシカ採食圧評価のための混合ベルト調査等を引き続き実施する。

ⅱ）「エゾシカ個体数・個体数指数」

H23 シカ年度の調査では、多雪により春期の自然死亡数が例年より多かった。ライトセンサス等によるシカ個体数・個体数指数は大幅に減少したが、流し猟式シャープシューティングによる捕獲や撹乱が影響している可能性があるため、今後は秋期のライトセンサス結果を個体数指数算定に用いることとする。

H24 シカ年度も、主要越冬地での生息動向を、航空カウント、ロードセンサス（ライトセンサスや日中センサス）などの手法を用いて引き続き把握することに加え、自然死亡状況についても情報収集する。

ⅲ）「土壌浸食」

環境省で実施している知床岬の詳細調査区及び広域採食圧調査区では、隔年で調査することとしており平成 23 シカ年度は実施なし。平成 24 シカ年度はこれまでと同様、定点写真を撮影し、過去と比較することにより評価する。

林野庁では広域採食圧調査の実施時に裸地面積を把握する。

2. H24シカ年度実行計画(管理事業)一覧

管理手法	遺産地域			隣接地区
	エゾシカA地区	特定管理地区(知床岬)	エゾシカB地区	
防御的手法		■既存の侵入防護柵の維持・補修 概　　要:既存侵入防護柵の巡視及び補修 場　　所:知床岬 事業時期:通年 実施主体:環境省、林野庁 (既存侵入防護柵) ・亜高山高茎草本群落(20m×20m) ・ガンコウラン群落(15m×15m) ・山地高茎草本群落 ・林野庁森林調査区(1ha)	■既存の侵入防護柵の維持・補修 概　　要:既存侵入防護柵の巡視及び補修 場　　所:幌別ー岩尾別地区 事業時期:通年 実施主体:林野庁、斜里町 (既存侵入防護柵) ・幌別地区林野庁森林調査区(1ha) ・岩尾別カシワ林林野庁森林調査区(林野庁H20, 21, 22設置)(3.55ha) ・しれとこ100平方メートル運動地内の各種侵入防護柵 ■侵入防護柵の新規設置 概　　要:侵入防護柵の新規設置 場　　所:幌別ー岩尾別地区 事業時期:春～秋 実施主体:斜里町 (新規侵入防護柵) ・幌別地区幌別園地隣接地(2ha) ・岩尾別地区岩尾別川河畔(0.3ha) ■樹皮食い防止対策の実施 概　　要:ポリエチレン製ネットによる既存単木保護木(オヒョウ、イチイ、ミズキ、アオダモ等、計約800本)の補修等 場　　所:幌別ー岩尾別地区(「100平方メートル運動の森・トラスト」(斜里町)) 事業時期:春～秋 実施主体:斜里町	■ウトロ市街地侵入防護柵の維持管理を含めた被害対策 概　　要:ウトロ市街地を取り囲む侵入防護柵(延長距離4.1km)の維持管理および被害対策(柵内のシカの除去を含む) 場　　所:ウトロ市街地 事業時期:通年 実施主体:斜里町 ■既存の侵入防護柵の維持・補修 概　　要:既存侵入防護柵の巡視及び補修 場　　所:ウトロ地区(イチイ林木遺伝資源保存林) 事業時期:通年 実施主体:林野庁
越冬環境改変			■開拓跡の未立木地の森林化作業 概　　要:しれとこ100平方メートル運動地内での、開拓跡未立木地の森林化作業(植樹苗の保護育成等)を引き続き実施 場　　所:幌別・岩尾別地区 事業時期:春～秋 実施主体:斜里町 ■道路法面牧草面積の拡大抑制 概　　要:工事実施にあたっての協議や許認可の際に、新たな牧草面積の拡大を可能な限り抑制するよう指導に努める 場　　所:特に国立公園内のシカ越冬地周辺の道路沿い 実施主体:環境省	
個体数調整		■仕切り柵の維持管理 概　　要:仕切り柵の維持管理 場　　所:知床岬 事業時期:通年 ■密度操作事業 概　　要:越冬期におけるシカの捕獲 場　　所:知床岬 事業時期:平成24年11月～平成25年5月 実施主体:環境省 目　　標:7-10年間で越冬個体数を35頭未満(5頭/km2)にまで減少させる。 手　　法:仕切り柵を活用した銃器による捕獲を行う。	■ルサー相泊地区における密度操作実験(3年計画の2年目) 概　　要:越冬期におけるシカの捕獲手法の試行 場　　所:ルサー相泊地区 事業時期:平成24年11月～平成25年5月(2年目) 実施主体:環境省 ■幌別ー岩尾別地区における密度操作実験(3年計画の1年目) 概　　要:無積雪期・越冬期におけるシカの捕獲手法の試行 場　　所:幌別ー岩尾別地区 事業時期:平成24年6月、平成24年11月～平成25年5月(1年目) 実施主体:環境省 ■仕切り柵の設置 概　　要:仕切り柵の新設 場　　所:幌別ー岩尾別地区 事業時期:未定 実施主体:環境省	■銃による個体数調整捕獲(羅臼市街周辺ー羅臼町、ウトロ高原ー斜里町) ■麻酔薬による個体数調整捕獲(羅臼市街ー羅臼町) ■囲いワナによる個体数調整捕獲(ウトロ・真鯉地区ー斜里町) ■囲いワナによる個体数調整捕獲(春苅古丹ー林野庁) ■狩猟による密度操作(北海道ー調整中)

3. H24シカ年度実行計画（モニタリング調査）一覧

		調査項目	遺産地域 エゾシカA地区	遺産地域 特定管理地区（知床岬）	遺産地域 エゾシカB地区	隣接地区
植生	詳細調査	植生回復調査		■亜高山高茎草本群落侵入防護柵（20×20m）内外 ■ｶﾞﾝｺｳﾗﾝ群落侵入防護柵（15×15m）内外 ■山地高茎草本群落侵入防護柵 概　　要：植生の回復状況を調査 時　　期：8月 実施主体：環境省	■幌別・岩尾別：100平米運動地各種侵入防護柵内外 概　　要：植生の回復状況を調査 時　　期：7～9月 実施主体：斜里町	
植生	詳細調査	密度操作実験対象地域 シカ採食圧調査		■知床岬台地上ササ調査区×3 概　　要：ササ高・被度を調査し採食圧を把握。 時　　期：8月 実施主体：環境省 ■知床岬台地上イネ科草本等調査区（金属ｹｰｼﾞ6、簡易ｹｰｼﾞ10） 概　　要：イネ科草本等シカの餌植物の採食圧の変化を把握。 時　　期：8月 実施主体：環境省	■ﾙｻｰ相泊地区固定調査区モニタリング調査 概　　要：平成23年に設定した固定調査区のモニタリング調査 時　　期：8月 実施主体：環境省	
植生	広域的調査	シカ採食圧広域調査	■知床連山周辺植生・採食圧調査 概　　要：高山～森林植生調査 時　　期：7～9月 実施主体：環境省 ■東岳シレトコスミレ採食状況調査 概　　要：シレトコスミレの被食株数をカウント 時　　期：7～9月 実施主体：環境省	■広域採食圧調査 概　　要：植生調査（草本含む）、被食状況調査 時　　期：7月～9月（予定） 実施主体：林野庁		
植生	広域的調査	在来種分布調査				
植生	広域的調査	植生調査				
エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	シカ生息動向調査		■航空カウント 概　　要：セスナからの写真撮影による頭数把握 時　　期：1-3月 実施主体：環境省	■ﾙｻｰ相泊：ライトセンサス、日中センサス 概　　要：ライトセンサス調査（岩見橋～相泊：調査距離10.4km） 　　　　および日中センサス（同区間） 時　　期：通年（ライトセンサス） 　　　　2～3月（日中センサス） 実施主体：羅臼町・知床財団 ■幌別・岩尾別：ライトセンサス 概　　要：幌別・岩尾別地区のライトセンサス調査（調査距離9.5km） 時　　期：春、秋 実施主体：斜里町	■ウトロ-真鯉：日中センサス 概　　要：日中センサス（調査距離約10km） 時　　期：12～4月 実施主体：知床財団 ■峯　浜：ライトセンサス 概　　要：ライトセンサス（調査距離約10km） 時　　期：10月中旬～下旬 実施主体：北海道
エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	自然死亡状況調査		■自然死亡数調査 概　　要：シカの性齢別の自然死亡数を把握。 時　　期：春期 実施主体：知床財団 ＊捕獲個体と自然死亡個体の判別がつかない場合は実施を見送り。	■ﾙｻｰ相泊：自然死亡状況把握調査 概　　要：シカの性齢別の自然死亡状況を把握。 時　　期：冬期～春期 実施主体：羅臼町 ■幌別・岩尾別：自然死亡状況把握調査 概　　要：シカの性齢別の自然死亡状況を把握。 時　　期：冬期～春期 実施主体：斜里町	■ウトロ-真鯉：自然死亡状況把握調査 概　　要：シカの自然死亡状況を把握。 時　　期：冬期～春期
エゾシカ個体数・個体数指数	広域的調査	越冬群分布調査				
エゾシカ個体数・個体数指数	広域的調査					
土壌浸食	詳細調査	土壌浸食状況調査		■土壌侵食変動状況調査 概　　要：文吉湾からアブラコ湾間の台地縁部に設置した固定杭を目印として、土壌侵食線の変動状況を調査。 時　　期：7～8月 実施主体：環境省		
土壌浸食	広域的調査	土壌浸食状況広域調査	■土壌浸食状況の広域モニター（当面は広域採食圧調査の中で、林床の裸地面積の変動を調査することで簡易的に把握）			

４．計画の実行に関する検討スケジュール

H24 シカ年度

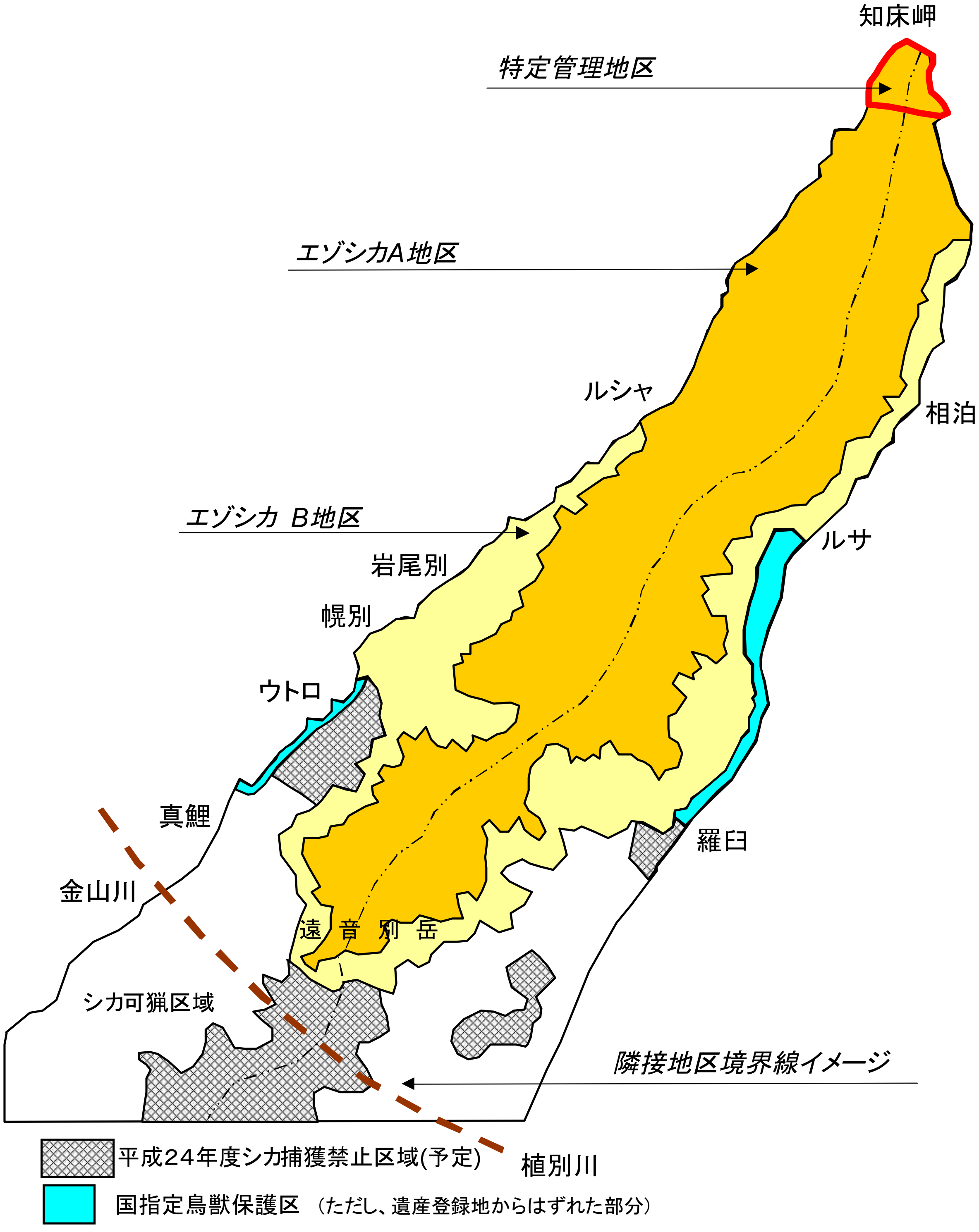
	知床半島エゾシカ保護管理計画	北海道エゾシカ保護管理計画
４月	第２期計画期間開始	第４期計画期間開始
５月	各種調査結果（事業結果）とりまとめ 実行計画案について、北海道、地元自治体等関係行政機関と調整	捕獲数集計（許可捕獲・狩猟（仮）） H24 エゾシカ可猟区の素案作成 →市町村への意見照会（区域・期間）
６月	第１回エゾシカ・陸上生態系ＷＧ会議 ・平成 23 年度調査結果 ・平成 24 年度実行計画（案） ・植生指標開発について ・密度操作実験候補地ルシャ及び真鯉地区の管理方針について ・長期モニタリング計画について 実行計画期間開始	エゾシカ保護管理検討会指数検討部会（H23 生息動向評価・H24 目標捕獲数の検討）
７月	(第１回科学委員会、第１回地域連絡会議)	H24 エゾシカ可猟区の道案作成 エゾシカ保護管理検討会（全体会）（部会検討結果の確認・可猟区素案の検討・施策検討） 北海道環境審議会（可猟区素案・捕獲推進プラン案の報告）
８月		環境省届出 成案 告示
９月		
１０月	第２回エゾシカ・陸上生態系ＷＧ会議 ・H24 シカ年度実施状況の報告（中間報告） ・H24 シカ年度個体数調整等事業実施方針 ・指標開発の検討（経過報告）	エゾシカ狩猟解禁（予定） ライトセンサス調査（全道）実施
１１月	密度操作実験（幌別岩尾別地区　２年目）	H23 狩猟データ（属地）とりまとめ（月末） ライトセンサス調査結果とりまとめ（月末）
１２月	密度操作実験（ルサー相泊地区　３年目）	
１月	個体数調整（知床岬地区　６年目）	
２月		エゾシカ保護管理検討会指数検討部会（H24 生息動向評価・H25 目標捕獲数の検討）
３月		エゾシカ保護管理検討会（全体会）（部会検討結果の確認・施策検討） エゾシカ狩猟終了（予定）
４月		
５月	個体数調整終了 H24 シカ年度実行計画期間終了	

５．中長期目標

		第1期		第2期					備考
	実行計画	H22シカ年度	H23シカ年度	H24シカ年度	H25シカ年度	H26シカ年度	H27シカ年度	H28シカ年度	
知床岬	目標捕獲頭数① 仕切り柵内	57(実績)	216頭(実績)	直近航空カウントの80%					
	航空カウント目標値②	246(捕獲前実績)	265(捕獲前実績)	<30(捕獲前) 1980年代レベル？					
	捕獲後個体数	246−57=189	265−131−80−5=49 (1990年代前半レベル)						
	捕獲率(①/②×100)	23.2	81.5						
	推定メス成獣越冬数 (捕獲後)	＜95	＜25	<15(捕獲前) 1980年代レベル？					
	備考	○ヘリによる厳冬期捕獲	○仕切り柵設置 ○仕切り柵を併用した捕獲	○仕切り柵を併用した捕獲				○仕切柵を併用した捕獲 ○結果評価 今後の方針を確認	
ルサ−相泊	目標捕獲頭数	シカ年度125(実績)	シカ年度188(実績)						
	U13ヘリカウント 目標頭数	108(実績)		第1段階目標:<90 2003年レベル					ヘリは高コストのため、ヘリセンサス結果を長期にわたり指標として使用可能か？ 例えば、岬、ルサ相泊、岩尾別幌別の3か所を隔年でセンサスできないか？
	U13ヘリカウント密度 目標値(頭/㎢)	8.69(実績)		第1段階目標:<7.24 2003年レベル					
	ライトセンサス春 目標値(頭/km)	19.4(実績)	9.5(実績)						SS実施により、道路沿いの密度が局所的に低下？ 指標として不適？ 越冬期捕獲前の秋の結果に注目。秋センサスが指標として使えると長年蓄積されたデータを活用可能。
	ライトセンサス秋 目標値(頭/km)	11.4(実績)							
	標識再捕獲法による メス成獣推定個体数	360.3±113.5(捕獲後春)	200±113.5(捕獲後春)						
	備考	囲いワナ・SS	囲いワナ・積雪期SS						
幌別	目標捕獲頭数	0(実績)	143(実績)						
	U06ヘリカウント 目標頭数	322(実績)		第1段階目標:<147 2003年レベル					ヘリは高コストのため、ヘリセンサス結果を長期にわたり指標として使用可能か？ 例えば、岬、ルサ相泊、岩尾別幌別の3か所を隔年でセンサスできないか？
	U06ヘリカウント密度 目標値(頭/㎢)	33.86(実績)		第1段階目標:<15 2003年レベル					
	幌別ライトセンサス春 目標値(頭/km)	12.9(実績)	6.7(実績)	第1段階目標:<5 1990年代半ば	第2段階目標<3 1990年代前半			第3段階目標:<1 1980年代後半	くくりワナ実施により、道路沿いの密度が局所的に低下？岩尾別と異なり,積雪期SSは未実施。指標として不適？ 越冬期捕獲前の秋の結果に注目。秋センサスが指標として使えると長年蓄積されたデータを活用可能。
	幌別ライトセンサス秋 目標値(頭/km)	8.4(実績)		第1段階目標:<1～2 1980年代後半					
	備考		くくりワナ・囲いワナ・無積雪期SS						
岩尾別	目標捕獲頭数	0(実績)	309(実績)						
	U05ヘリカウント 目標頭数	384(実績)		第1段階目標:<113 2003年レベル					ヘリは高コストのため、ヘリセンサス結果を長期にわたり指標として使用可能か？ 例えば、岬、ルサ相泊、岩尾別幌別の3か所を隔年でセンサスできないか？
	U05ヘリカウント 密度目標値(頭/㎢)	33.28(実績)		第1段階目標:<9.8 2003年レベル					
	岩尾別ライトセンサス春 目標値(頭/km)	10.6(実績)	2.2(実績) 1989調査開始以来最低	第1段階目標:<1 1980年代？					SS実施により、道路沿いの密度が局所的に低下？ 指標として不適？ 越冬期捕獲前の秋の結果に注目。秋センサスが指標として使えると長年蓄積されたデータを活用可能。
	岩尾別ライトセンサス秋 (頭/km)	7.1(実績)		第1段階:<1.8 1980年代後半レベル					
	備考		積雪期・無積雪期SS						

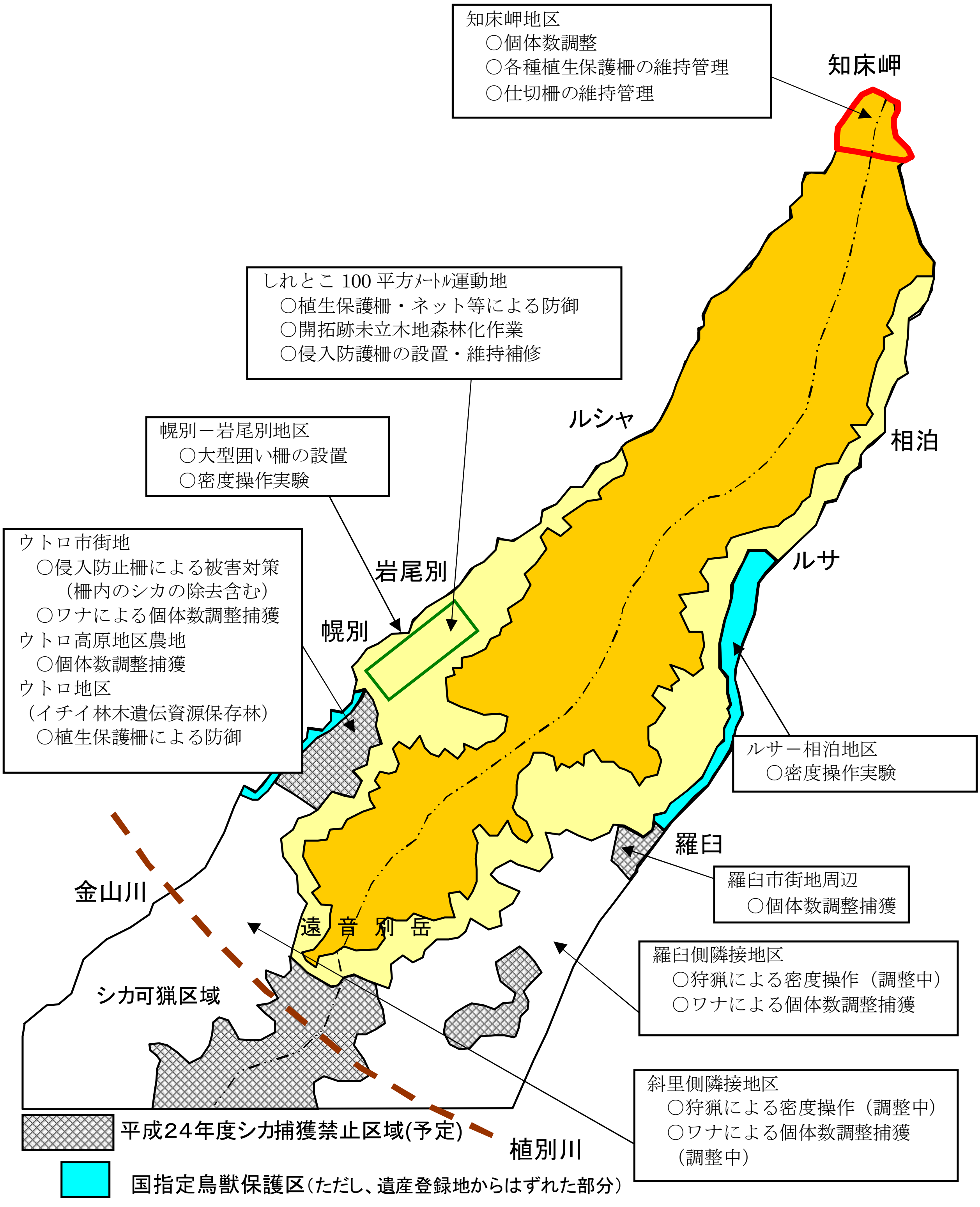
補足資料1

知床半島エゾシカ保護管理計画・地区区分図



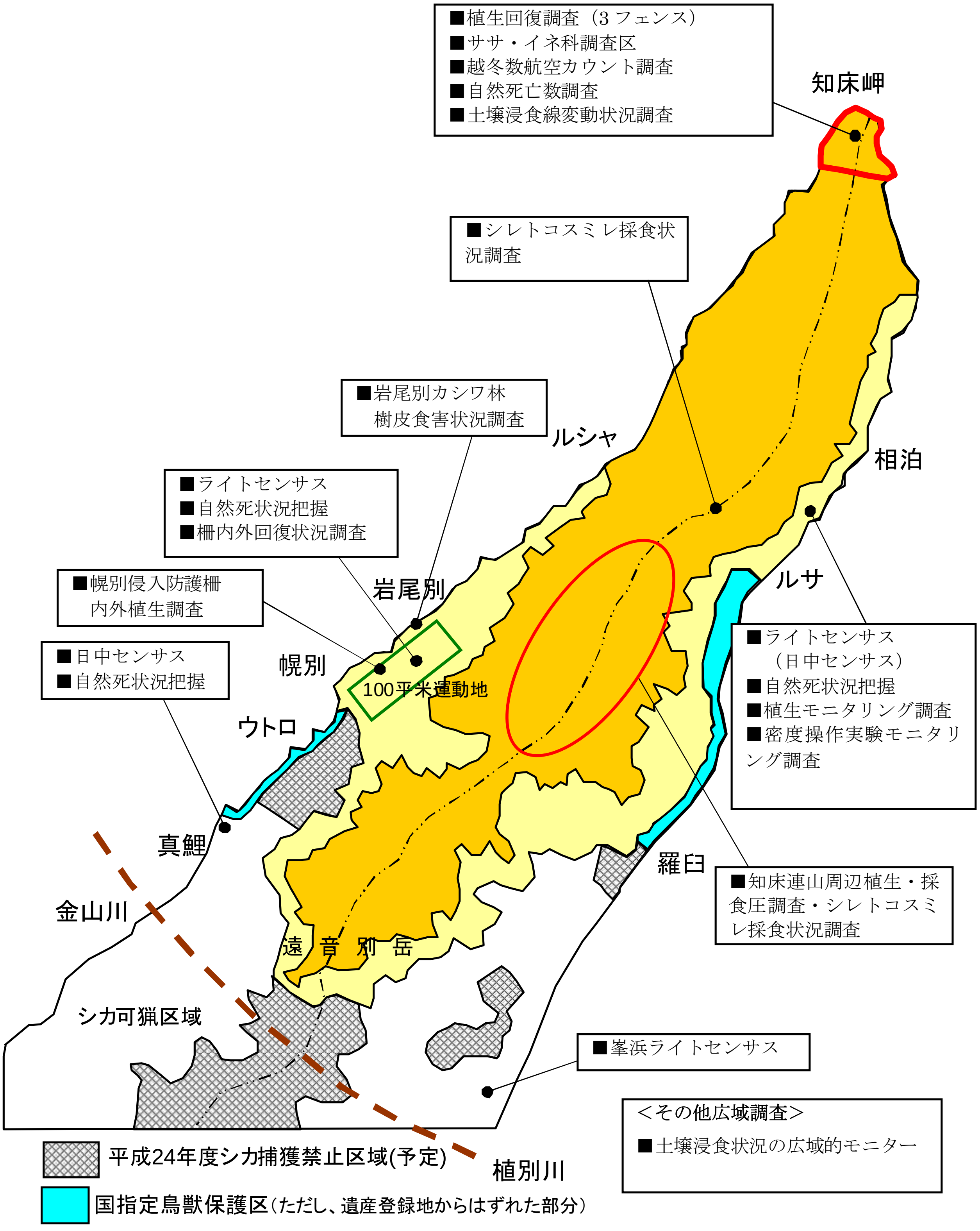
補足資料2

H24シカ年度管理事業位置図



H24シカ年度モニタリング調査位置図

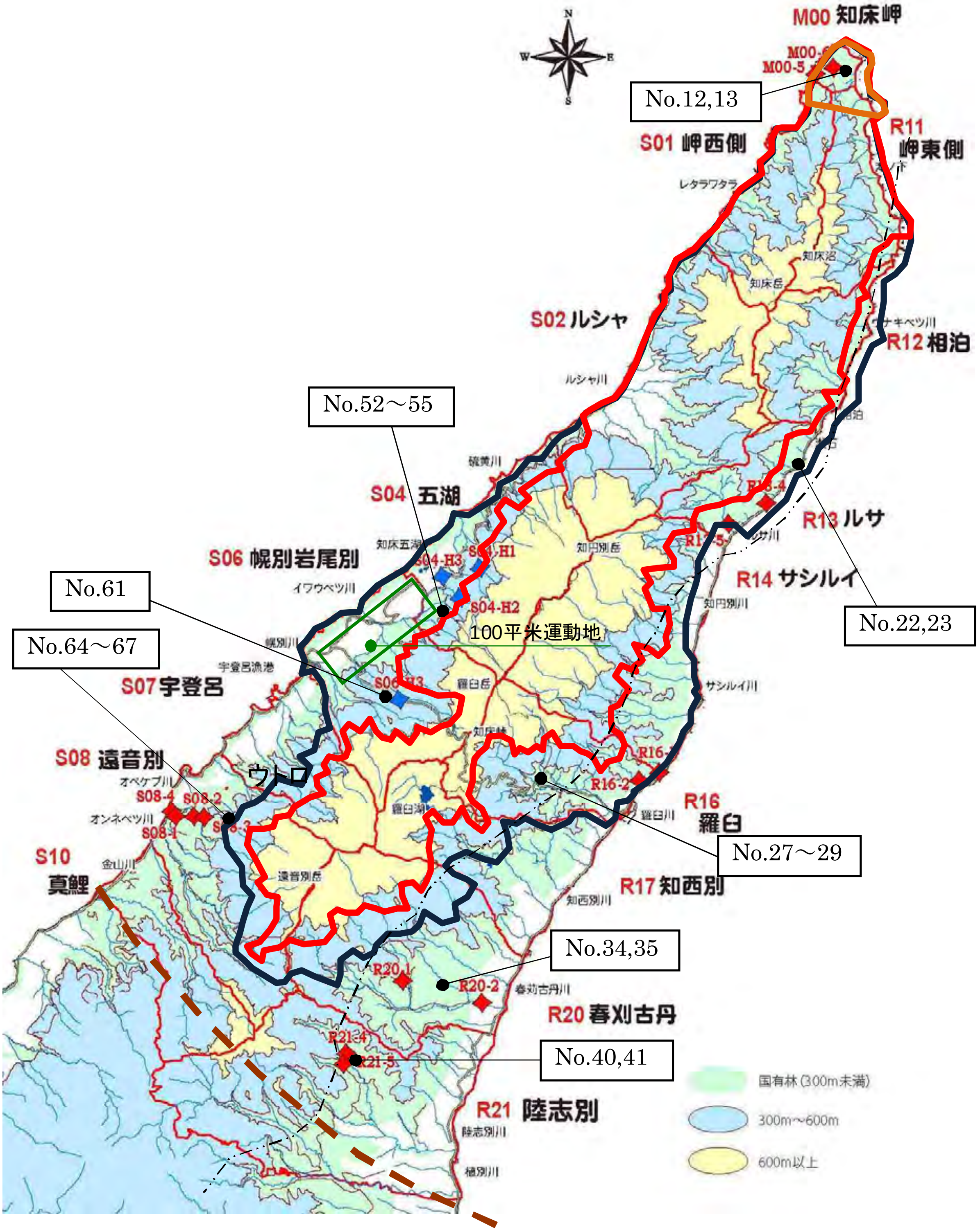
＊固定調査区による植生・採食圧調査を除く



補足資料4

H24シカ年度　広域採食圧調査位置図

（図中番号は次頁表の No.に対応）



エゾシカ採食圧に関する森林固定調査区の一覧 今後のモニタリング計画

補足資料5

07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	
17	10	7	0	40	18	21	2	15	30	26	森林管理局
2	1			3	2	1			1	2	環境省

番号	エリアNo	エリア	調査区名	区分	設置年	実施者	面積	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	方針
1	M00	岬	E_Mc	囲	2004	林	10,000		●			●		○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
2	M00	岬	E_Mo	囲	2004	林	10,000		●			●		○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
3	S06	幌別岩尾別	E_Hc	囲	2003	林	9,600	●		●		●		○		○		○	これまでの調査間隔を維持
4	S06	幌別岩尾別	E_Ho	囲	2003	林	10,000	●		●		●		○		○		○	これまでの調査間隔を維持
5	S06	幌別岩尾別	E_Ic	囲	2009	林	10,000			●		●					○		影響を見るには適さないため、5年間隔程度とする。
6	S06	幌別岩尾別	E_Io1	囲	2009	林	2,500			●		●					○		影響を見るには適さないため、5年間隔程度とする。
7	S06	幌別岩尾別	E_Io2	囲	2009	林	2,500			●		●					○		影響を見るには適さないため、5年間隔程度とする。
8	M00	岬	M00-1	森1	2011	林	400					●		○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
9	M00	岬	M00-2	森1	2011	林	400					●		○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
10	M00	岬	M00-3	森1	2011	林	400					●		○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
11	M00	岬	M00-4	森1	2011	林	400					●		○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
12	M00	岬	M00-5	森0	2008	林	400		●				○	○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
13	M00	岬	M00-6	森0	2008	林	400		●				○	○		○		○	大規模柵の効果を見るために2年間間隔とする。
14	R11	岬東側	R11-1	森0	2009	林	400			●					○				アプローチ困難なため5年程度間隔とする。
15	R11	岬東側	R11-2	森0	2009	林	400			●					○				アプローチ困難なため5年程度間隔とする。
16	R12	相泊	R12-1	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
17	R12	相泊	R12-2	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
18	R12	知床岳(羅臼)	R12-H1	森2	2008	環	400		●					○					5年間隔の予定
19	R13	ルサ	R13-1	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
20	R13	ルサ	R13-2	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
21	R13	ルサ	R13-3	森1	2011	環	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
22	R13	ルサ	R13-4	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
23	R13	ルサ	R13-5	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
24	R14	サシルイ川	R14-1	森1	2011	林	400					●			---		○		5年間隔で実施
25	R14	サシルイ川	R14-2	森1	2011	林	400					●			---		○		5年間隔で実施
26	R14	サシルイ川	R14-3	森1	2011	林	400					●			---		○		5年間隔で実施
27	R16	羅臼	R16-1	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
28	R16	羅臼	R16-2	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
29	R16	羅臼	R16-3	森0	2007	環	400	●					○					○	5年間隔の予定
30	R16	羅臼	R16-H1	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
31	R16	羅臼	R16-H2	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
32	R17	知西別川	R17-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
33	R17	知西別川	R17-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
34	R20	春刈古丹	R20-1	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
35	R20	春刈古丹	R20-2	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
36	R20	遠音別岳(羅臼)	R20-H1	森3	2011	環	200					●					○		5年間隔の予定
37	R21	陸志別	R21-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
38	R21	陸志別	R21-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
39	R21	陸志別	R21-3	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
40	R21	陸志別	R21-4	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
41	R21	陸志別	R21-5	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
42	S01	岬西側	S01-1	森0	2008	林	400		●					○					5年間隔で実施（揃えるため12年実施もありうる）
43	S01	岬西側	S01-2	森0	2008	林	400		●					○					5年間隔で実施（揃えるため12年実施もありうる）
44	S02	ルシャ	S02-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
45	S02	ルシャ	S02-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
46	S02	ルシャ	S02-3	森0	2008	林	400		●					○					5年間隔で実施（揃えるため12年実施もありうる）
47	S02	ルシャ	S02-4	森0	2008	林	400		●					○					5年間隔で実施（揃えるため12年実施もありうる）
48	S02	ルシャ	S02-5	森0	2008	林	400		●					○					5年間隔で実施（揃えるため12年実施もありうる）
49	S02	ルシャ	S02-6	森0	2008	林	400		●					○					5年間隔で実施（揃えるため12年実施もありうる）
50	S04	五湖	S04-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
51	S04	五湖	S04-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
52	S04	連山中腹	S04-H1	森2	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
53	S04	連山中腹	S04-H2	森2	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
54	S04	連山中腹	S04-H3	森2	2003	林	200						○					○	古い調査区のため改めて設定する。
55	S04	連山中腹	S04-H4	森2	2007	環	400	●					○					○	5年間隔の予定
56	S06	幌別岩尾別	S06-1	森1	2011	林	400					●		○		○		○	個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
57	S06	幌別岩尾別	S06-2	森1	2011	林	400					●		○		○		○	個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
58	S06	幌別岩尾別	S06-3	森1	2011	林	400					●		○		○		○	個体数調整の効果を見るために2年間間隔とする。
59	S06	横断道	S06-H1	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
60	S06	横断道	S06-H2	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
61	S06	横断道	S06-H3	森2	2006	林	400	●					○					○	○
62	S07	宇登呂	S07-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
63	S07	宇登呂	S07-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
64	S08	遠音別	S08-1	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
65	S08	遠音別	S08-2	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
66	S08	遠音別	S08-3	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
67	S08	遠音別	S08-4	森0	2006	林	400	●					○					○	5年目を迎えるため再調査
68	S08	遠音別岳	S08-H1	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
69	S08	遠音別岳	S08-H2	森3	2011	環	400					●					○		5年間隔の予定
70	S08	遠音別岳	S08-H3	森3	2011	環	400					●					○		5年間隔の予定
71	S10	真鯉	S10-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
72	S10	真鯉	S10-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施

※2年間隔の実施時は毎木調査については実施不要。